

# 東高リバーラルアーツ通信

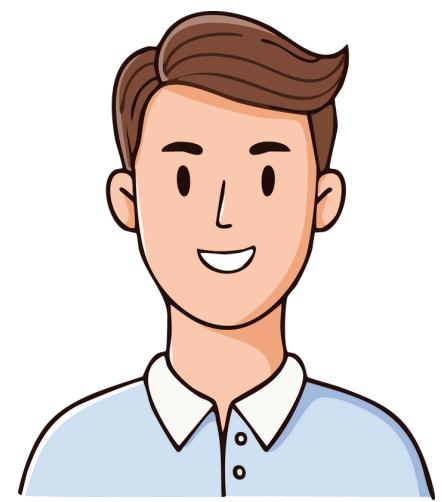
No. 3

2025年11月20日発行



11月は、アドバイザーの石橋先生と  
ゼミ担当の先生方数人で対話をしました。  
通信第3号は、対話の中で出てきた事例を  
対話で分かりやすく解説します。

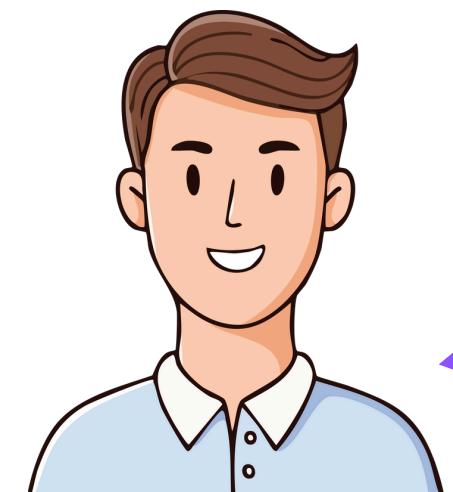
# 事例① テーマ決めて苦しんでいる



何も興味ない。分からぬ。  
浮かんでこない。



自分の性格は？ 生活習慣は？  
好きなアニメは？ 好きなドラマは？



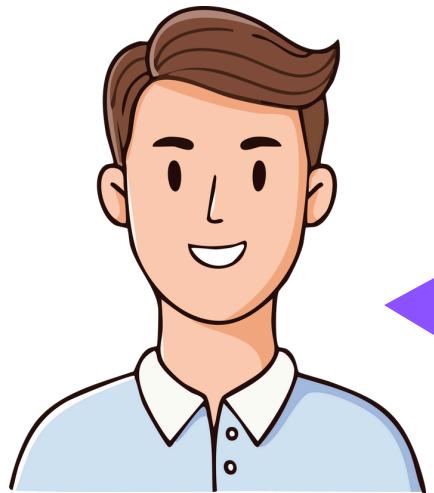
言葉にならないので  
言葉で表現できません。



絵・落書き・イラストでもいいよ。  
簡単なタイトル付けるといいね！

## 事例② ゼミの人数が多すぎる！！

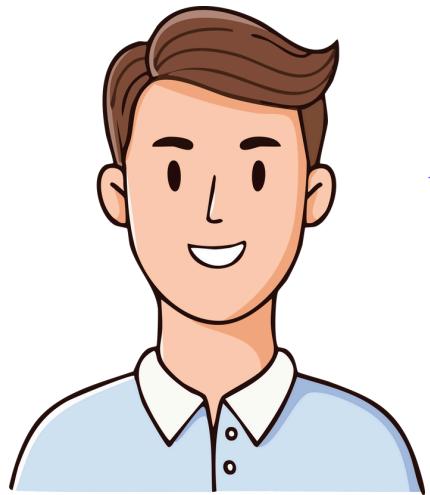
人数いっぱい過ぎて、ゼミの先生と対話ができない><



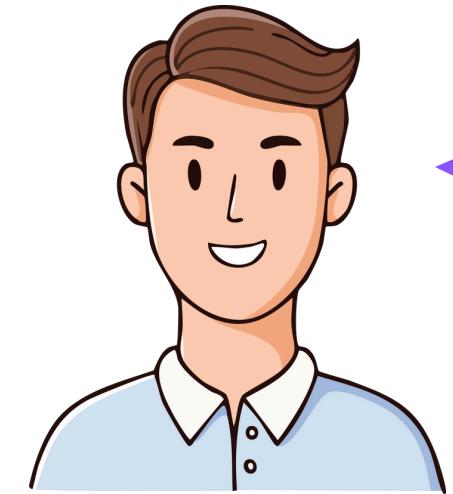
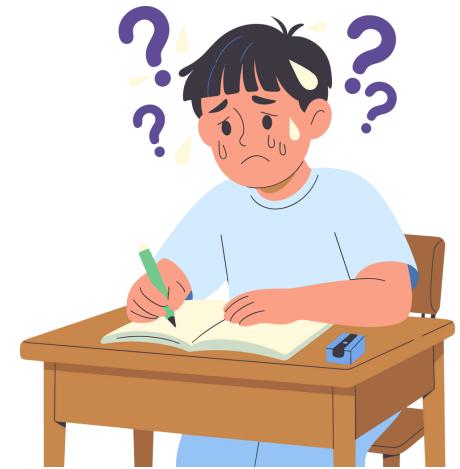
ワークシートを使って、先生とやりとりするグループごとに進捗を報告して議論するグループを変えて、新たな視点を得るなどが考えられます。



## 事例③ フィールドワークについて



誰に聞いてもいいの？



外に出ることが大事  
どんなこと聞けばいい？



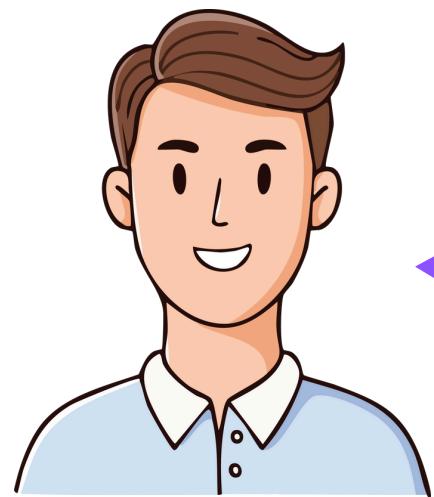
同じようなテーマの人いるんだけど



聞く人によって視点が違うから  
比較すると面白いかも

# その他 先生方から

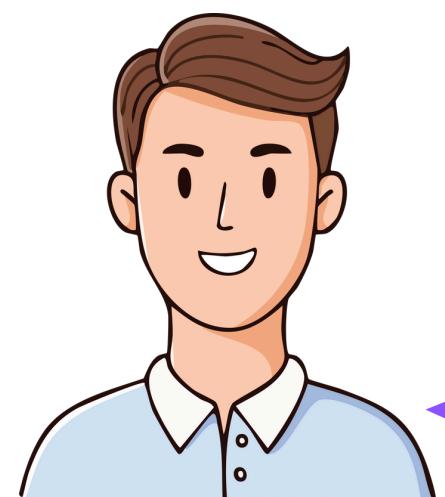
何か良いツールありますか？



齋藤教頭先生が、福島北高で使用していた  
独自の探究フィードバックのツールがあり  
ます。渡部純ゼミ、梅宮ゼミも順調に動い  
ているので、対話してみてください。



そのテーマは教科専門外なのですが・・・



専門教科の先生の元へ行かせましょう。  
来た生徒は、先生方誰でも面倒をみましょう！

